

HARUYAMA REPORT

株式会社はるやまホールディングス

第52期 中間報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

科学で、着るを変えていく。



Top Message

ビジネススタイルの新たな変革
「地域に必要とされる店」を
目指す

代表取締役会長兼社長

はるやま 正文



第52期中間連結会計期間の業績について

当中間連結会計期間は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、継続する物価上昇に加え、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

衣料品小売業界におきましては、生活必需品の価格上昇が個人消費の拡大を妨げており、依然として厳しい経営環境のまま推移いたしました。

このような環境のもと当社グループにおきましては、「NEW BIZ WEAR」をキーワードに掲げ、機能性オフィスカジュアル商品やレディース向け商品の拡充に注力いたしました。2025年9月には、Perfect Suit FAcTory初のレディース専門店を大阪・梅田の阪急三番街にオープンするなど、多様化する動き方に応じた商品提案を行いました。

これらの結果、お客さま一人あたりの購買単価は既存店前年同期比105.7%と堅調に推移した一方で、個人消費は引き続き停滞しており既存店客数は前年同期比91.3%、物価高騰の影響による商品原価上昇が継続していることなどから、売上総利益は80億2百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

営業利益面では、猛暑に対応するビジネスウェアの市場認知度の向上と新たな顧客層の開拓を目的として、マルチチャネルを活用した統合的なマーケティング施策を実施したほか、持続的な収益性の向上や、将来に向けた成長戦略の実現を目指し、店舗運営の効率化を目的として出店店や店舗改装にも着実に取り組んでまいりました。

店舗数に関しましては、グループ全体で10店舗新規出店及び12店舗閉店（うち4店舗移転）した結果、当中間連結会計期間末の総店舗数は368店舗となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間におきましては、売上高134億6千5百万円（前年同期比2.7%減）となりました。利益面は、営業損失20億7千6百万円（前年同期は営業損失11億2千5百万円）、経常損失18億7千8百万円（前年同期は経常損失9億5千8百万円）の結果となりました。また、親会社株主に帰属する中間純損失は、主に法人税等調整額の計上が2億3千5百万円あったことにより、23億7百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失12億7千1百万円）の結果となりました。

今期の見通しについて

今期の見通しといたしましては、物価上昇による個人消費への影響や商品原価高騰の継続などによる、不透明な状況が続くものと予想されます。

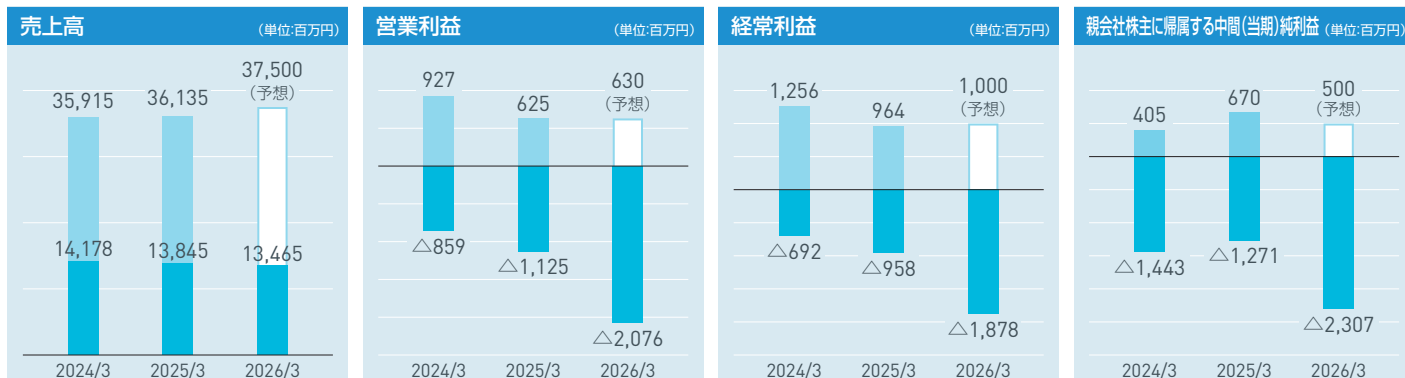
こうしたなか当社グループでは、多様化する動き方やお客さまのニーズにお応えする商品・サービスを通じて、付加価値の提供及び商品品質の向上に努めてまいります。また、引き続き既存店舗の効率化と収益性改善を推進し、「地域に必要とされる店」の実現を目指して、経営基盤の整備と強化に取り組んでまいります。

みなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結業績ハイライト

■ 中間連結会計期間 ■ 通期



TOPICS トピックス

01 日本の猛暑をCOOLスイッチ!
「NEW BIZ WEAR」
新CM公開

「働く人により快適で着心地のよいウェアを提供する」というコンセプトのもとに誕生した新しいビジネスウェア「NEW BIZ WEAR」を発売するにあたり、ブランドアンバサダーとして岩田剛典さんを起用し、新CMを公開いたしました。

2025年5月には第一弾「サーモグラフィー」篇、「スイッチ」篇、そして同年7月には第二弾「サウナ」篇を公開し、涼しく快適な状態へと切り替わる（スイッチする）様子を表現することで快適な着心地とキチンとした見た目を両立するビジネスウェアの新基準を提案いたしました。

02 働く女性を応援!
レディース専門店をオープン

Perfect Suit Factory (P.S.F.A) より、ブランド初となるレディース単独店舗「阪急三番街店」が、2025年9月5日に大阪・梅田の阪急三番街にオープンいたしました。女性の活躍の場が広がり、女性向けのビジネスウェアのニーズが高まっていることに着目した新しい試みです。

新店舗では「ピンク」を新ブランドカラーとして採用し、働く女性に寄り添う商品・空間をご用意いたしました。

今後も引き続き、働くみなさまの多様なライフスタイルをサポートする提案を進めてまいります。

03 異業種テナントとコラボ
店舗の活性化に注力

事業戦略の一環として、リユース事業を展開する株式会社ハードオフコーポレーション、アグロエコリユースファクトリー株式会社と連携し、はるやま3店舗（宝塚店、東大阪若江店、姫路北店）内に新たにハードオフ、ホビーオフの店舗を併設いたしました。また、フォトスタジオを運営する株式会社スタジオアリスとも連携し、はるやま2店舗（藤枝店、佐世保店）にスタジオアリスの店舗を併設してリニューアルいたしました。

異業種のテナントを併設することで来店動機の多様化と売場面積の有効活用を同時に実現し、新たな顧客層の獲得と店舗収益の改善を目指してまいります。



CORPORATE DATA / STOCK INFORMATION

会社情報 / 株式情報

(2025年9月30日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社はるやまホールディングス		
設立	1974年11月6日		
資本金	39億9,136万8,000円		
本店	岡山市北区青江一丁目17番21号		
主な事業内容	グループ戦略立案及び各事業会社の統括管理及び不動産賃貸		
役員	代表取締役会長兼社長	治山	正史
	取締役	宇野	薫
	取締役	中川	雅文
	取締役	丸屋	祐太郎
	常勤監査役	澤味	聡嗣
	監査役	光岡	敬一
	監査役	櫻田	憲司
主な子会社 (※は非連結)	はるやま商事株式会社 株式会社ミック 株式会社モリワン 株式会社マンチェス 田原コンサルト株式会社※		
従業員数	連結	1,114名	単体 12名

■ 株式情報

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	16,485,078株 (うち自己株式 804,964株)
	(注)当中間期間中に市場買付により自己株式330,500株を取得しました。

株主数 40,355名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社はるか	3,336,300	21.27
治山 邦雄	1,383,322	8.82
有限会社岩淵コーポレーション	1,324,500	8.44
株式会社四国銀行	729,640	4.65
治山 公子	720,082	4.59
治山 美智子	406,792	2.59
はるやま社員持株会	399,882	2.55
岩淵 典子	349,900	2.23
治山 高広	331,000	2.11
治山 純子	318,700	2.03

(注) 1. 当社は、自己株式を804,964株所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
配当金受領株主 確定日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 実施する場合は、毎年9月30日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所(スタンダード市場)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。 公告掲載アドレス https://www.haruyama.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度

100株以上ご所有の方へ

継続保有期間1年以上で
対象の商品一点贈呈

+ 20%割引券

●贈呈券の対象商品は当社HP内「株主優待制度」
からご確認ください。
[https://www.haruyama.co.jp/ir/
stc_reception.php](https://www.haruyama.co.jp/ir/stc_reception.php)

●所有株数に応じて20%割引券進呈!
100株～ 999株 2枚
1,000株～ 2,999株 6枚
3,000株～ 10枚

※毎年3月31日時点の株主さまに6月末頃発送いたします。